

学校だより

(かていすうはいふ)

な わ じ ょ う つ う し ん

暇小通信

令和6年度 第13号

令和7年 1月 8日発行

四條暇市立四條暇小学校

校長 香村 紀子



みじか ふゆやす お がっき はじ
短い冬休みが終わり、3学期が始まりました。
ふゆやす みじか こ
冬休みは短かったです、子どもたちにとっ
てはワクワクいっぱい期間だったのではない
でしょうか。昨日から始まった 3学期も、短
いですが子どもたちみんなのワクワクいっ
ぱいにしていきたいとおもいます。

がっき がくねん がっき まな
3学期は、学年のまとめの学期であり、学んだ
ことをしっかり振り返り自分の力にしてい
く大事なときです。そして、自分の力とな
った皆さんのことが次の学年につながるた
めの準備期間でもあります。できるようにな
ったこと、がんばったこと、よかったこと
などを自分ごととして捉え、自信に
してほしいな、と思います。

なんでも、とにかく「やってやるぞ〜!」というやる気満タスイッチを ON にしてがんばりましょう。

ねんせい そつぎょう お がっき
6年生はいよいよ卒業に向かう3学期。

ねんせい いま とも な か ま すかた
6年生のみなさん。今しかできないことを、共にくらす仲間と、やりきってください。その姿が、これからの暇小をかたちづくっていくのです。楽しみにしています!

てんきよほう さむ つづ ひ
天気予報によると、まだまだ寒さは続くようです。日によっては、すこし気持ちの和らぐ陽ざしを感じることがありますが、インフルエンザなどの感染症はかなり流行っているらしく、体調管理がとても難しい時期です。「手洗い・うがい」など感染対策となる基本的なことをこまめに続け、できるだけ体調を崩さぬよう毎日過ごしていきたいとおもいます。

がっき なわてしやう りかい きやうりよく ねが
3学期も暇小へのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。



みどし 巳年とは？



じゅうにしじっかん じゅうにし こだい ちゅうごく じゅんじょ すう あらわ つか ほうがく
十二支十干は、「十二支」という古代中国で「順序」や「数」を表すために使われていたものを「方角」
あ かんじ
に当てはめた12の漢字【子(ね)・丑(うし)・寅(とら)・卯(う)・辰(たつ)・巳(み)・午(うま)・未(ひつ
じ)・申(さる)・酉(とり)・戌(いぬ)・亥(い)】と、同じく古代中国で「日」を10日ごとに数えるために用い
かんじ
られた漢字【申(きのえ)・乙(きのと)・丙(ひのえ)・丁(ひのと)・戊(つちのえ)・己(つちのと)・庚(かの
え)・辛(かのと)・壬(みずのえ)・癸(みずのと)】を組み合わせて、「日」や「月」、「年」などを数えるため
こよみ
の暦(こよみ)のひとつとして伝わってきたものです。(詳細には諸説あります。)

ことし
今年は、「乙巳(きのとみ)」といわれる年で、十二支十干では42番目にあたります。

「乙(きのと)」は十干のうち2番目に位置し、生命の循環では植物が成長し広がっていく様や困難があ
うよきよくせつ すす あらわ
っても紆余曲折しながら進むことを表します。

また「巳(み)」は、成長することが極限にまで達した状態を表します。「巳」を生き物であらわすと「へ
だっぴ せいちょう ふっかつ さいせい しょうちよう
び」。「へび」は脱皮しながら成長することから復活・再生の象徴とされています。

このような意味をもつ「乙」と「巳」が合わさった令和7年「乙巳」年は、これまでがんばってきたこと・
どりよく せい かい とし か けっか せいちょう おも お
努力してきたことが成果となりやすい年、とも書かれてありました。また、結果よりも成長に重きが置かれる
ねん か き じ
年、と書かれている記事もありました。

そんな乙巳年の令和7年、これまでのがんばりや努力が実るときが近づいていることを信じて、継続して
きのとみとし れいわ ねん どりよく みの ちか しん けいぞく
いくことって大事だな、と思います。新しい年を迎えて気持ち新たに、一日一日を大切に過ごしていきたい
だいじ おも あたら とし むか き も あら いちにちにち たいせつ す
です。

がっき しゅうぎょうしき じ かん 2学期の終業式はなんだか すてきな時間でした。

がっきまつ
2学期末は、インフルエンザなどの感染症が流行り、予定していた集会が実施できませんでし
がっき いいんかい かつどう なか いいんかい がっこうせい かつ
た。2学期の委員会活動の中で、それぞれの委員会がよりよい学校生活にするためにみんなに
つた
伝えたいことがたくさんあり、集会で伝える予定だったのですが。。

しゅうぎょうしき あつ
終業式で集まったときにいくつかの委員会が舞台をつかって伝えることとなりました。その発表
み ひとり がっき じぶん ふ かえ おも じどうかい
を見て、一人ひとりが2学期の自分を振り返るきっかけとなったように思います。また児童会から
ふゆやす す かた よ こうちょうせんせい はなし
は、冬休みの過ごし方についての呼びかけがありました。そのあとの「校長先生からのお話」は
ひつよう
必要ないほどの内容でした。

もちろん校長はじめ先生からお話することにも意味があり、大切なことです。同時に、子ども
こうちょう せんせい はなし い み だいじ どうじ こ
たちどうしが大切なことや伝えたいことを伝え合うことで、学校生活がよりよくなっていくことがよ
だいじ つた つた あ がっこうせい かつ
り大きな意味を持つのではないかと思います。学校は、学校に関係するみんながつくるもの。そし
がっこう がっこう かんけい
て一番の主役は子どもたち。これからもそんな子どもたちの活躍を期待します。

